

授業科目 (ナンバリング)	キャリア開発Ⅱ (BA311) (実践的教育科目)			担当教員	久田 貴幸・ 落合 和昭 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義・演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
2年間の大学生活の中で培ってきた自分自身による「自分磨き」を踏まえ、大学卒業以降の自分のライフキャリア形成上の大きな関門となる就職に備え、就活に必要な実技・知識の習得や、必要なシミュレーション等を実践する事で、希望に沿った就職活動を行う事が出来る様になる事を目標とする。							①②⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力							
情報収集、 分析力	授業で得た気づき、情報等を基に、自分自身の現状を踏まえて将来設計に落とし込むことができる。				・毎週の授業レポ ート ・課題レポート	10% 20%	
コミュニケーション力	自分の感じた事、考えを自分の言葉で分かり易く説明し、文章で表現することができる。				・毎週の授業レポ ート ・授業参画度	10% 10%	
協働・課題解決 力	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身のライフプランを意識し、目的に向かって積極的に行動を起こすことができる。 希望就職先を具体化し、明確な目標意識を持って就職活動に邁進することができる。 				・毎週の授業レポ ート ・課題レポート	20% 30%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎週のリフレクションカードへの記入による定期レポートを2回提出し40%評価する。毎回必ず自分自身の気づき、気づきの行動への転換、行動の継続の実践状況を確認してほしい。課題レポートは現時点での自分自身の人生設計を踏まえ、課題に関して①自分の感じた事、考えを、②自分の言葉で分かり易く説明できているか否かで50%評価する。その他授業への参画等を10%評価とし、総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜授業時に行う。							
授 業 の 概 要							
担当教員のホテル業での実務経験や知見に基づく実務的な講義や外部講師、キャリアセンター職員がテーマに即した授業形式（講義形式、グループワーク、演習形式等）で行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。なお、この授業は全ての回を2名の担当教員が担当する。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書/参考書：特に定めない。必要資料は授業時に適宜配布する。 指定図書：『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎著 岩波文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
自分自身の一生をどのように過ごすのかを考えることは人類永遠の課題である。足元では社会人として、地域の善良な一市民として、求められる素養・教養を身に付けて大学を巣立って行く事を、自分自身の人生の中でどう位置付けるかという事を常に意識しつつ、残りの大学生活を送ってほしい。その中で就職は当面する自分自身の人生におけるキャリアパスの一つであるという意識を持って授業に臨んでもらいたい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 自身のライフプランの構築 と就職活動に向けて	授業への導入、この授業が目指すポイント、当年度就職活動の一般的なスケジュール解説、キャリアセンター利用方法等について学ぶ。	予：シラバスを読み込む 復：自身のライフプランの再確認
2	マイナビ・リクナビ活用方法 について	登録済のリクナビ、マイナビの具体的な活用方法、インターンシップ情報の収集・申し込み、SPIWEBテストの活用方法を身につけ実践する。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：マイナビ・リクナビの利用を考える 復：WEB での情報収集方法とSPI 利用方法の再確認
3	情報収集の方法について考 える	就職活動や広く地域社会や社会一般を知るためにどのように情報を収集し、選択するかについて学ぶ (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：自分の情報収集の方法について考える 復：どの様な情報収集方法が実践できるかを考える
4	インターンシップの活用方 法について	既に開始されているインターンシップの活用方法や注意点について学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：インターンシップの利用を考える 復：自身がどのようにインターンシップを利用するか考える
5	社会人としてのマナーを身 につける (1)	基本的な挨拶・お辞儀の仕方などの基本を、実技を取り入れながら身につける。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：自身のマナー理解度を考える 復：社会人としての基本となるマナー等を再確認する
6	社会人としてのマナーを身 につける (2)	インターンシップや企業訪問等、実際のコミュニケーション場面でのマナーの基本を身につける。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：次回学ぶ部分の内容を考える 復：社会人としてのマナーの実践を再確認する
7	社会人としてのマナーを身 につける (3)	インターンシップや企業訪問等、実際のコミュニケーション場面に必要な慣用語や身だしみ等を身につける。(実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：社会人としてふさわしい態度を考える 復：これまでのマナーについて振り返りを行う
8	労働法に関する知っておき たいワークルールの基礎知 識	職場での就業上のトラブルを未然に防ぎ、より良い職場生活を送るため、ワークルールの基本事項を理解する。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：ワークルールの基本知識を読んでおく。 復：ワークルール再確認
9	働くイメージ (1)	現役社会人の講話 (1)：各種業界で働く社会人から就職活動や社会人として必要な事柄を学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：自分が希望する業界を考える 復：各業界への具体的な関心を高め、就活に備える
10	働くイメージ (2)	現役社会人の講話 (2)：各種業界で働く社会人から就職活動や社会人として必要な事柄を学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：前週の要点を考える 復：具体的な就活先業界を絞り込んでみる
11	人生全体のマネープランに ついて考える	人生設計において重要なマネープランについて考える (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：マネープランとは何かを考える 復：マネープランの実際を再確認
12	自分自身を振り返る	自分自身の将来を考える上で、なにが一番重要なのかを考える	予：自分自身の価値観を考える 復：自分にとって何が重要かの再確認
13	先輩の話を聴く	採用内定者や社会人となった先輩の3年次の就活行動と、今何をしておくべきかへのアドバイスを確認する。	復：先輩の体験談を自分の中にどの様に取り込むかを考える
14	人生設計図の検討	自分自身の人生設計の具体的な設計図への落とし込みと、課題レポートの作成。	予：自分の人生目標を考えてみる 復：自分の人生設計図の完成と再確認
15	社会に出るために必要な事 の再確認	進路、就職先決定に向けた具体的な行動内容の確認と就活スケジュールの再確認	復習：具体的な就活への行動内容の再確認